

Web サイト評価システムの構築

00H077 鳥阪武志

1 はじめに

Web の登場初期では、Web は研究者の間でのみ使われていたが、現在では多様なユーザに使われるようになり、インターネットが普及していった。これに伴い、Web は個人の情報発信やビジネスに活用される機会が増えていった。これによって Web サイト、Web ページの数は膨大な物になった。そして、今までになかった Web の使いやすさいわゆるユーザビリティや、多様な閲覧環境で閲覧可能かというアクセシビリティが重視されるようになってきた。

ユーザビリティやアクセシビリティの高いサイトの構築、管理を行うには人的コストがかかるため、解決法の一つとして Blog や tDiary などの CMS(コンテンツマネジメントシステム) が登場した。しかし、CMS 導入には Web サーバ構築などの導入コストがかかることや、CMS に登録されたスタイルに固定化されてしまうなど、改善の余地がある。また、既存のサイトを CMS 上に移行させるには多くの手間がかかることも問題である。

そこで既存のサイトのユーザビリティやアクセシビリティを評価し、問題点を指摘するツールの必要性が出てきた。今回の研究では指定された Web サイトがどの程度多様な閲覧環境に対応しているかを評価する前段階として、Web の文法の正しさを点数化するツールを用いて、サイトを総合的に評価するシステムを構築した。

2 研究内容

HTML 文法チェッカー には、既に石野 恵一郎氏によって構築された Another HTML-lint が存在する。これは Web サイト を構成する HTML の文法や用法を解析し、減点法により Web サイトを点数化するツールである。今回はこのツールより対象サイトの点数のみを取り出し、平均値を計算することでサイト全体の評価を行うシステムを構築した (図 2 参照)。

本研究で構築した点数化システムは、以下のようにして動作する。

1. 対象サイトをローカルに保存する。ローカルに保存することにより、他のツールとの組み合わせを行った場合でもネットワークにかかる負荷を軽減することができる。
2. 対象サイトの構造を解析し、各ファイルごとに点数化を行う。対象サイトの構造と、点数は別のファイルに保存することにより、汎用性を持たせている。
3. 対象サイトの構造と、それぞれの点数、平均点を表示する。

```
[tori@h-ps011 kenkyu]$ points.sh www2.odn.ne.jp/ikedatyuouu/  
サイトをローカルに保存しています...  
点数化をしています...  
index.html -310  
newpage12.htm 59  
(中略)  
平均は -58.5 点です.
```

図 1: 構築した Web 評価システムの実行結果

3 まとめ

本研究では、Another HTML-lint とシェルスクリプトを組み合わせでサイト評価システムを構築した。本システムではサイトの構造と、点数を記録したファイルを別のファイルに保存することによって拡張性を高めている。今後、このサイト構造を記録したファイルを他のツールで用いることで、アクセシビリティや、ユーザビリティなど、別の角度からサイトを評価することも可能である。

今後、このシステムを利用して Web 上のコンテンツの評価を行ない、Web サイトの運用上の問題点を明確にし、改良を加えていく一助になれば幸いである。